

蚊媒介感染症（ジカウイルス感染症、デング熱など）について

1 概要

蚊媒介感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることによって起こる感染症のことで、蚊は人に病気をうつすが、蚊自身は病気になりません。代表的な蚊媒介感染症には、ウイルス疾患であるジカウイルス感染症、デング熱、チクングニア熱、日本脳炎などがある。世界的に蚊媒介感染症は多く発生し、特に熱帯や亜熱帯地域で広く流行している。

2 主な蚊媒介感染症の特徴

(1) ジカウイルス感染症

主な媒介蚊：ネッタイシマカ、ヒトスジシマカなど

感染経路：ヒトー蚊ーヒト（ただし、性行為による感染例が報告されている）

発生地域：中南米・カリブ海地域、オセアニア太平洋諸島、東南アジアなど

症状：軽度の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、班丘疹、結膜炎、倦怠感など

潜伏期間：2から12日（多くは2から7日）

(2) デング熱

主な媒介蚊：ネッタイシマカ、ヒトスジシマカなど

感染経路：ヒトー蚊ーヒト

発生地域：東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国など

症状：発熱から始まり、頭痛、眼窩痛、筋肉痛、関節痛など

潜伏期間：2から15日（多くは3から7日）

3 本市の対応について

(1) 感染症媒介蚊のモニタリング調査

目的：感染症媒介蚊の国内侵入を早期発見するための蚊のウイルス検査

検査項目：ジカウイルス、デングウイルス、チクングニアウイルス、ジカウイルス、

時期：6月から10月に月1回

捕集地点：三笠公園、動物愛護センター、ソレイユの丘、くりはま花の国の4か所

検査結果：現在のところ全て陰性

(2) 市民への情報提供

ホームページで防蚊対策について情報提供した。また、妊娠の可能性のある人に向けたチラシの作成し、健康福祉センター等に配架した。

(3) 医療機関に対する情報提供と協力依頼

「デング熱・チクングニア熱の診療ガイドライン」を市内全医療機関に配布し、基準を満たす場合、医療機関からの依頼に応じて、デング熱検査を実施している。

ジカウイルス感染症については疑う要件を医療機関に通知し、検査実施の可否を判断して行政検査を行う。